

発行所  
青森県高等学校・障害児  
学校教職員組合  
青森市橋本1丁目2-25  
教育会館 017(734)7287  
編集発行人 酒田 孝  
購読料一部20円は組合費  
の中に含む

熊本地震  
復興支援カンパ  
**30,903円**  
ありがとうございました!  
全体では9,000万円ほどが集  
まり、被災地に贈られています

Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/aokokyoso/> ブログ <http://plaza.rakuten.co.jp/sannkyoso05/>



申し入れに元立つて行われた記者会見

文科省は昨年1月、高校生の放課後や休みの日の校外で行う政治活動を「届け出制」にできるという方針を示しました。これを受けて各自自治体が様々な方針を出しました。岩手・秋田を初めとする15府県・8政令市は、教育委員会が「届け出の必要なし」としました。いっぽうで、愛媛県では、県教委が「届け出制」と決めたので県下59校全ての公立高校が「届け出制」になりました。そのほかの28都府県6政令市は、判断を学校に「丸投げ」しました。NHK等の報道によると、それらの県の合計19校が「届け出制」にしたという事です。青森県も「丸投げ」でしたが、調査が急で職員会議で話し合う間もなく、ほとんど管理職の判断で決めて報告した模様です。その結果、15校が「届け出制」を選択しました。つまり、県の判断で「届け出制」にした愛媛県を除いて、学校の判断で「届け出制」にした全国19校のうち、実に15校が青森県でした。文科省は「O&A」で、「届

出しました。岩手・秋田を初めとする15府県・8政令市は、教育委員会が「届け出の必要なし」としました。いっぽうで、愛媛県では、県教委が「届け出制」と決めたので県下59校全ての公立高校が「届け出制」になりました。そのほかの28都府県6政令市は、判断を学校に「丸投げ」しました。NHK等の報道によると、それらの県の合計19校が「届け出制」にしたという事です。青森県も「丸投げ」でしたが、調査が急で職員会議で話し合う間もなく、ほとんど管理職の判断で決めて報告した模様です。その結果、15校が「届け出制」を選択しました。つまり、県の判断で「届け出制」にした愛媛県を除いて、学校の判断で「届け出制」にした全国19校のうち、実に15校が青森県でした。文科省は「O&A」で、「届

# 県教委は高校生の政治活動の権利を保障してください

団体名を記入させるなど、生徒の「政治的信条」を問う、「活動を萎縮させる」内容になっていました。例えば、立候補者の街頭演説を高校生が聞きに行くためには、生徒が事前に担任や生徒指導部、教頭、校長などの許可印をもらって回らなければなりません。これでは、生徒の政治に参加する権利を大きく制限することになります。若い世代が政治に参加する好機であるにもかかわらず、県教委の対応によって学校現場や生徒・保護者を混乱させることになったことは、極めて遺憾です。

## 高校生の政治活動の「届け出制」に関して申し入れ

- 申し入れ項目
- 1 県教委として前回の方針を撤回し、届出不要の方針を改めて全ての県立学校に出してください。
  - 2 県教委として新たな方針が出せないのであれば、各学校で行われている届出制度が、生徒の政治活動の権利を侵害、もしくは萎縮させるものになっていないか確認してください。具体的には以下の3点です。
    - (1) 実質的に「許可制」になっていないか、各学校の規定を確認してください。
    - (2) 集会名、団体名などの記入欄がないか、届出の様式を確認してください。
    - (3) 届け出をしないで政治活動を行った場合の罰則の有無とその内容を確認してください。
  - 3 上記2の(1)～(3)のいずれか1つでも確認された場合には、県教委として学校を指導してください。

7月に入ると、生徒たちと話す話題の中に進路についてのことが多くなってきました。この仕事をしたいということだ。高校へ進学するために下宿したり、公共交通機関で1時間以上の時間をかけている生徒たちは、県外就職の進路を取らなければならぬ場合がほとんどだ。社員寮を持つ県内の企業や事業所は非常に数が少なく、人材の流出を加速させているひとつの要因であると思われる。働くことのできる場所が増えることは望ましいことではあるが、県内にとどまることのできない人材も確実にいる。県外の規模の大きい企業へは安心して送り出すことができるが、同時に寂しさを感じるのが本音である。進学においても同様に感じる。青森県を離れて進学する生徒は、どのくらい就職で青森県にもどってくるのだろうか。進路のほとんどが就職となる本校では複雑な心境で指導することがある。

### 坂道の風

7月に入ると、生徒たちと話す話題の中に進路についてのことが多くなってきました。この仕事をしたいということだ。高校へ進学するために下宿したり、公共交通機関で1時間以上の時間をかけている生徒たちは、県外就職の進路を取らなければならぬ場合がほとんどだ。社員寮を持つ県内の企業や事業所は非常に数が少なく、人材の流出を加速させているひとつの要因であると思われる。働くことのできる場所が増えることは望ましいことではあるが、県内にとどまることのできない人材も確実にいる。県外の規模の大きい企業へは安心して送り出すことができるが、同時に寂しさを感じるのが本音である。進学においても同様に感じる。青森県を離れて進学する生徒は、どのくらい就職で青森県にもどってくるのだろうか。進路のほとんどが就職となる本校では複雑な心境で指導することがある。

# 私たちの選挙 18歳選挙権

7月10日に実施された第24回参議院選挙で、初めて高校生が選挙に行きました。そこで、いくつかの学校から、選挙に参加した高校生の感想を寄せていただきました。



子 (男)

**選** 選挙にはお昼頃、親と一緒にいきました。自分が行くもあり驚かれました。人が少ない町だということもあるのですが、投票率の行方が気になりました。今回投票して、一人ひとりの意識が変わらなければいけないと実感しました。(男)

**選** 選挙については各政党の公約を比較し、親ともどこに投票すべきかを話し合いました。選挙を通じて社会に貢献できたという感じはありますが、自分の投票した候補者が当選できなかったため、自分の一票は...と考えてしまいました。(男子)

**親** と一緒に選挙公約について話し合い、投票に行きました。開票結果を楽しみにしていましたが、自分の投票した候補者が落選して、自分の一票は...と考えてしまいました。(女子)

**朝** 6時40分頃投票所へ行く空の投票箱の中を見ました。選挙については、政治経済の授業で手順について学んでいたのですが、スムーズにいったと思います。親とも選挙について話しをしました。(男子)

**私** は、今年から選挙権が18歳に引き下げられたことに、大いに意味があると思う、18歳の一人としての意志。反映のため、今回選挙に参加しました。その一票を意味あるものにするためにも、選挙に関するポスターなどを調べることから始めて、自分自身が投票したいと思った人、党を自分の目で見極めました。結果的に、私が投票した人は選ばれたので、これからの社会をより良いものにしていくと期待します。(女子)

**私** は正直に言って、自分は選挙に関係ないと考えていたが、多くのニュースなどに取り上げられているのを見て、自分も投票しようと思った。投票所に行く、係りの人が丁寧に指示してくれたため、スムーズに投票することができた。しかし私は政治に興味が無く、ニュースや新聞から事前に情報を得ることをしなかったため、あまり真剣に考えずに投票してしまいました。次の選挙の際は、自分で正しい判断をして投票したい。(女子)

**私** は正直に言って、自分は選挙に関係ないと考えていたが、多くのニュースなどに取り上げられているのを見て、自分も投票しようと思った。投票所に行く、係りの人が丁寧に指示してくれたため、スムーズに投票することができた。しかし私は政治に興味が無く、ニュースや新聞から事前に情報を得ることをしなかったため、あまり真剣に考えずに投票してしまいました。次の選挙の際は、自分で正しい判断をして投票したい。(女子)

**正** 直なところ選挙に行くつもりはなかった。自分が行ったところでどうなるというのが本音だった。しかしある人と選挙について話したことで考えが少し変わった。選挙に行くことが日本国民としての義務だと思った。実際に行ってみると面倒くさいと思っていたのが嘘のようでも簡単だった。これからは来ようと思った。更に今回は何も自分では調べずにこの人はこの政党だからという理由で決めてしまった。だから次からは新聞やテレビ、インターネットを活用し、自分からもっと選挙について考えて行こうと思った。選挙できる年齢が下がり、いい経験ができたので本音によかったと思う。(男子)

## Q. 配偶者手当がなくなるって本当ですか？

労働条件なるほど講座

政府や経済界から人事院に対して、配偶者手当廃止の圧力がかかっています。昨年の人事院勧告では「現時点では、扶養手当の支給要件を見直す状況にはない」と政府の圧力をはねのけましたが、その後、政府は有識者による「扶養手当の在り方に関する勉強会」などを開催し、人事院に対してさらに圧力を強めています。

**A. 政府が人事院に圧力をかけています**

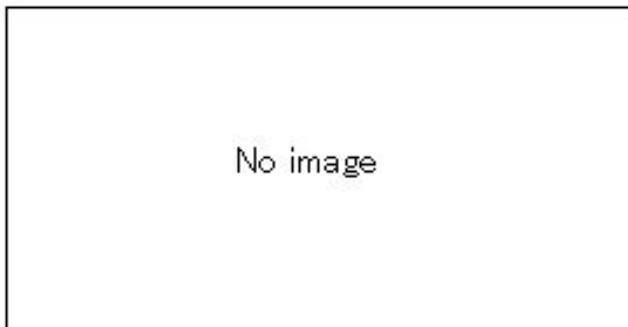
8月上旬の勧告にむけて、人事院はマスクミに対して、配偶者手当廃止を少しずつ試み始めます。

人事院が廃止を勧告する理由は見当たりません。しかし、2014年に経済財政諮問会議からの提案に基づき、安倍首相が人事院総裁に検討を求めたことから、動きが急速に強まってきました。

政府や経済界は、まず公務員の配偶者手当を廃止し、その後、民間の手当も減らそうとしています。もし配偶者手当が廃止できれば、賃金を圧縮できる上に、女性を安価な労働力として雇用できる

# 採用試験突破へラストスパート! 「虎の穴Ⅲ&Ⅳ」を終えて

7月に入り採用1次試験対策「虎の穴Ⅲ」は2、3日に教職教養「教育心理、西洋教育史」と「集団討論演習」をしました。16日の「虎の穴Ⅳ」は、組合未加入の方も参加して午前中に「オープン模試」、その解答と解説を、午後は受験



No image

校種別に分かれて「集団討論演習」の仕上げをしました。本番さながらにスーツを着用している参加者が半数を超えて、試験に向けての緊張感も高まってきました。集団討論のテーマは過去10年間の出題傾向を分析して、絞ったものを2つ演習しました。残りの1週間の過ごし方を確認して1次試験前最後の「虎の穴」を終えました。塾生のみなさんの健康を祈っています。

夏休み中は8月20日(土)13時から、2次試験対策「虎の穴Ⅴ」で「クレベリン検査」と「YG性格テスト」の演習を青森県教育会館で行います。興味のある方はぜひ参加してみてください。当日の組合加入でも参加できます。お待ちしております。

## チラシまきもしました

7月23日、採用試験当日に青森東高校、青森中央高校、青森商業高校の3会場にて採用試験チラシまきを

行いました。チラシの表は酒田委員長の予想問題です。受験生の間ではよく当たると評判で、いったん校舎に入ってから、わざわざ玄関までもらいに来る人もいました。裏面には、これ

## 青森県の給付型奨学金「大 学入学時奨学金」に注目!

### 「高校生の進路保障と修学保障 を求める就職キャラバン」

高校生の就職活動の解禁を前に、今年も「高校生の進路保障と修学保障」と題する北海道・東北キャラバン(就職キャラバン)が行われました。東北・北海道の高校組織の委員長・書記長が東北・北海道を訪問し、知事に高校生の就職と修学保障への取組みを要請するもので、2003年から行われて今年が14年目です。



No image

今年の就職キャラバンは7月24日から27日まで行われ、知事要請と街頭宣伝と集会を行いながら7道県をまわるハードな日程です。

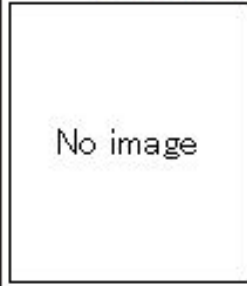
始まった2003年当時は、生徒に見せる求人票が学校にないという「超氷河期」だったため、要請は地元雇用の拡大が中心でした。しかしその後、格差と貧困の広がりが労働法制の改善により派遣や請負などの非正規雇用が広がった

までの高教組・県教組の臨時教職員問題への取り組みを紹介した文章を載せています。本番でみなさんの実力が発揮できるような健康をお祈りしています。

が国に先駆けて青森県で作られたことの意義は大きなものがあります。夕方の集会では、進学を希望しながら自衛隊に入隊する生徒が増えていること、県内の高校生の流出が続き人口減少に歯止めがかからないこと、県立病院や教育委員会で障害者の法定雇用率が達成されていないことなどが熱心に話し合われました。

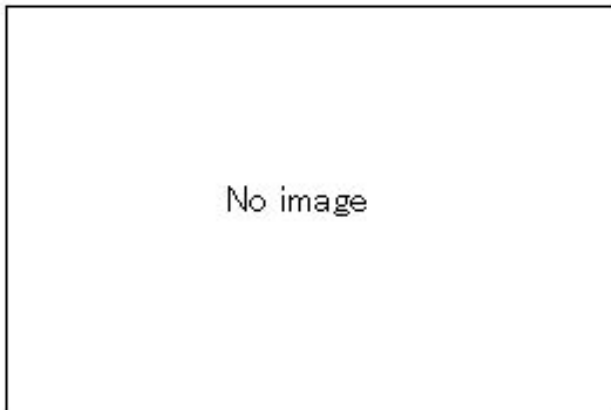


No image



No image

# 学びと交流を深めて 障害児学校部東北ブロック学習交流集会



7月2〜3日、青森市を  
会全教障害児教育部東北ブ  
ロック学習交流集会が行わ  
れました。今回のプログラ  
ムとして、1日目は全障研  
(全国障害者問題研究会)  
青森支部が開催した「発達  
保障セミナー」に参加し、  
2日目に実践交流を行うと  
いう、これまでにない構成  
で行いました。

約が生きる北欧における障  
害を持つ人々の暮らしにつ  
いて、荒川智全障研全国委  
員長と藤原英夫全国事務局  
長から貴重な講演を聞くこ  
とができました。障害児教  
育に携わる私たちにとっ  
て、取り組みを進めるうえ  
で重要な方向を示してもら  
い、私たちの実践にも生か  
していきたいと思いまし

1日目の  
のセミナ  
ーには、  
教育関係  
者だけで  
はなく福  
祉関係者  
など幅広  
い方々が  
約80名参  
加しまし  
た。障害  
のある子  
どもの豊  
かな発達  
を目指す  
発達保障  
の考え方  
や、障害  
者権利条

た。二日目の実践交流は宮  
城県と青森県の2つのレポ  
ートをもとに、様々な課題  
について議論を深めました。  
過卒生の学びと、その  
周辺を取り巻く医療・福祉  
と教育の関係、知的障害だ  
けにとどまらない子どもの  
心や取り巻く環境の課題な  
どについて、議論を深めま  
した。

この集会の参加者は他  
県からの参加者も含めて、  
少ないものでしたが、他県  
の方々も様々な課題につ  
いて語り合うことは楽しく、  
また励まされることだなど  
改めて感じる事ができま  
した。来年1月7〜9日に  
は、全国の学習交流集会が  
札幌で行われます。障害児  
学校だけではなく高等学校  
からもたくさんの方に参加  
してもらい、学びと交流を  
深めてほしいと願っていま  
す。

## 青森県教組女性部・養護教員部、高教組女性部合同学習会 不妊治療の理解と支援 ～最前線から届けたい声～

現在30代の私たちの大先輩の女性教職員には産前休暇がありませんでした。そのうえ、代替者は自分で  
見つけなければならず、しかも、代替者の給料は、自分の給料から出さなければなりません。女性保  
護の取り組みが急がれた時代でした。女性保護の取り組みは今後も女性部の重要課題です。ここ数年  
教組女性部は、「妊婦産後休暇」認められていないのは、全国でも山形県と青森県だけの新設を要求して  
います。また、全国的には、「不妊治療のための休暇」も認められている県が増えてきています。そこで、今  
回の学習会では、不妊治療への理解と支援の在り方について学んでいきたいと思えます。

1 日 時 2016年9月10日(土) 13:00~17:00

- 12:30 受付スタート
- 13:00 歌・開会のあいさつ
- 13:10 講演(～14:50)
- 14:50 講演に関する質疑応答
- 15:10 コーヒータイム
- 15:30 フリートーク
- 16:45 歌・閉会のあいさつ

＜講演の柱＞

- ①自分たちの不妊治療の日々を時系列で振り返る
- ②治療にあたって突き当たる課題
- ③支援体制の整備

**実 況 会**

17:30～19:00

「施設後」(赤穂町0404 1階)

Tel 718-3539

- 2 会 場 青森県教育会館 2階会議室
- 3 講 師 牧藤 元先生(さとう げん)  
長野県諏訪二葉高校教頭
- 4 参加費 500円(組合員は無料)
- 5 参加申込みや問い合わせは、県教組まで申し込んでください。

2016年度  
**Summer**  
キヤンペーン

職場2人加入で  
もらえる! 職場賞!

職場賞の条件

1人加入  
職場賞の対象外

2人加入  
職場賞の対象

対談共済  
職場賞  
優待が、職場賞

キャンペーン期間 2016年7月16日～8月31日まで

**第46回教美展 作品募集**

会 期: 11月17日(木)～11月30日(日)

会 場: 青森市民美術展示館

参 加 料: 無料

種 目: 日本画、洋画、版画、デザイン、彫刻、  
書、写真、工芸(パッチワーク、切り絵など)

※1人1点1種目  
(彫刻、工芸、デザインは2点まで)

出品申込締切: 10月12日(水)

＜お申し込み・お問い合わせ＞  
青森県教育厚生会 総務課  
〒030-0823 青森市橋本1-2-25  
TEL 017-721-1310 FAX 017-723-2267  
E-mail sozoku@kyouiku-kouseikai.or.jp